

宇連ダム(新城市)



●豊川用水宇連ダムの落差を利用した発電施設で、水資源機構が設置しました。
発電した電力は、ダム管理設備の電源として利用するほか、余剰電力は売電し、維持管理費に充てています。



施設の概要	水車形式	横軸フランシス水車	最大使用水量	2.00 m ³ /秒
	最大出力	760kW	事業費	約7億2,600万円
	有効落差	50.11m	稼働開始年月	平成30年5月



宇連ダムと小水力発電所施設



小水力発電所施設(下流より)

駒場池流入工(豊川市)



●豊川用水駒場池の流入工の水位差を利用した発電施設で、水資源機構が設置しました。
発電した電力は、操作電源として利用するほか、余剰電力は売電し、維持管理費に充てています。



施設の概要	水車形式	インライン式チューブラ水車	最大使用水量	0.60 m ³ /秒
	最大出力	49.9kW	事業費	約2億400万円
	有効落差	13.2m	稼働開始年月	平成30年5月



発電所

流入工



駒場池周辺の様子

佐布里分水口(知多市)



●愛知用水幹線水路から佐布里池への分水を利用し、佐布里分水口と佐布里池の水位差で発電を行う施設で、水資源機構が設置しました。
発電した電力は自家消費して、余剰電力は売電し、維持管理費に充てています。



施設の概要	水車形式	垂直2軸クロスフロー水車	最大使用水量	3.5 m ³ /秒
	最大出力	33kW	事業費	約1億4,100万円
	有効落差	2.56m	稼働開始年月	平成30年11月

